

**EXPRESSBUILDER**

# EXPRESSBUILDER

## 1.概要

EXPRESSBUILDER CD-ROM は、Express5800 シリーズサーバ/ワークステーションをセットアップするためのソフトウェアが格納された標準添付の CD-ROM です。

この CD-ROM には、セットアップ用プログラムのほか、管理・運用のための各種ユーティリティ (ESMPRO, DianaScope など) やオンラインドキュメントが格納されております。

EXPRESSBUILDER は、次の2つのフェーズを持ち、それぞれで実行できるユーティリティやセットアップできるソフトウェアが異なります。

### (a) EXPRESSBUILDER CD-ROM から Express5800 シリーズ<sup>(注)</sup>を起動させる

- ・シームレスセットアップや各種保守ユーティリティ (T&D など) が実行できます。

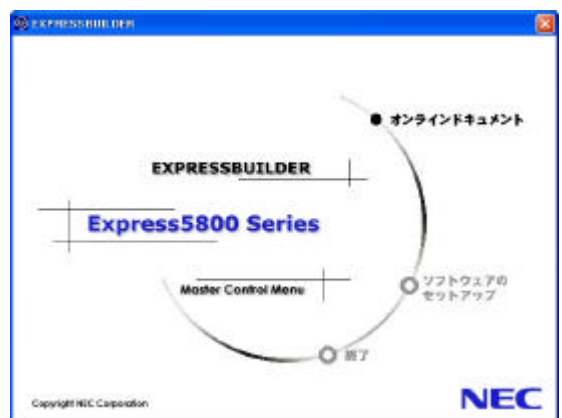
注意 | EXPRESSBUILDER はバージョンによって対応機種が異なります。  
本体装置に添付された EXPRESSBUILDER から起動させてください。

### (b) Windows ( Windows NT 4.0 以降、または Windows 95 以降のバージョン ) が動作しているコンピュータへ、EXPRESSBUILDER CD-ROM をセットする。

- ・自動的にメニューが表示され、Windows 上で動作する各種ソフトウェアをインストールできます。



(a)のときの画面表示例  
(Ver4.xxx の場合)



(b)のときの画面表示例

## 2.EXPRESSBUILDER のおもな収録内容

(表の各項目は、EXPRESSBUILDERのバージョンにより追加・削減がありますのでご注意ください)

収録内容	説明	フェーズ (*)
<b>オペレーティングシステム セットアップ</b>		
ExpressPicnic	シームレスセットアップで使用するパラメータファイルを作成するためのユーティリティです。	(b)
Windows OEM-DISK For EXPRESSBUILDER	Windows のマニュアルセットアップ、またはシステム修復の際に必要なとなるフロッピーディスクです。対象となる機種がサポートする Windows の種類 / Edition によって、作成できるフロッピーディスクの種類が変わります。	(a), (b)
システムのアップデート	Windows のドライバ / 差分モジュールを適用します。	(b)
<b>サーバ監視・管理</b>		
ESMPRO/ServerAgent	管理対象となる Express5800 シリーズにインストールして、本体装置の状態を監視するソフトウェアです。	(b)
ESMPRO/ServerManager	クライアント(管理 PC)にて、ESMPRO/ServerAgent からの情報を取得・表示するためのソフトウェアです。	(b)
DianaScope	クライアント(管理 PC)からネットワークを通じて、管理対象となる Express5800 シリーズをリモートで操作するためのアプリケーションです(サーバの画面をリモートでクライアント上へ表示して操作することができます)。	(b)
オフライン保守ユーティリティ	オペレーティングシステムが起動しないような重大な障害発生時に、障害原因を解析するためのユーティリティです。	(a)
システム診断ユーティリティ(T&D)	本体装置の機能、および本体と拡張ボードとの接続などを検査するユーティリティです。	(a)
<b>ディスクアレイ保守・管理</b>		
Power Console Plus	LSI Logic 社製ディスクアレイコントローラ(MegaRAID)を管理するためのユーティリティです。	(b)
Adaptec Storage Manager	Adaptec ディスクアレイコントローラ(HostRAID など)を管理するためのユーティリティです。	(b)
Promise Array Management	Promise 社製シリアル ATA インタフェースのディスクアレイコントローラを管理するためのユーティリティです。	(b)
Fast Check	Promise 社製ディスクミラーリングコントローラを管理するためのユーティリティです。	(b)
<b>その他</b>		
オンラインドキュメント	本体装置や各種ユーティリティについて説明したドキュメントファイルです。一部、PDF 形式のファイルで提供しておりますので、あらかじめ Adobe Reader をインストールしておいてください。(Ver4.xxx では Adobe Reader を格納していません。Adobe システムズ社のサイトより最新版をダウンロードしてください)	(b)
各種 BIOS/FW のアップデート	インターネットで配布されたシステム BIOS などを本体装置へ適用します。	(a)
BMC Online Update	インターネットで配布された BMC(Base board Management Controller)ファームウェアを本体装置へ適用します。	(b)
テープ監視ツール	テープ装置から通報される 自己診断情報(TapeAlert 情報)を基に、画面上へメッセージ出力などを行います。	(b)

\* 「1.概要」に記載の各実行フェーズ

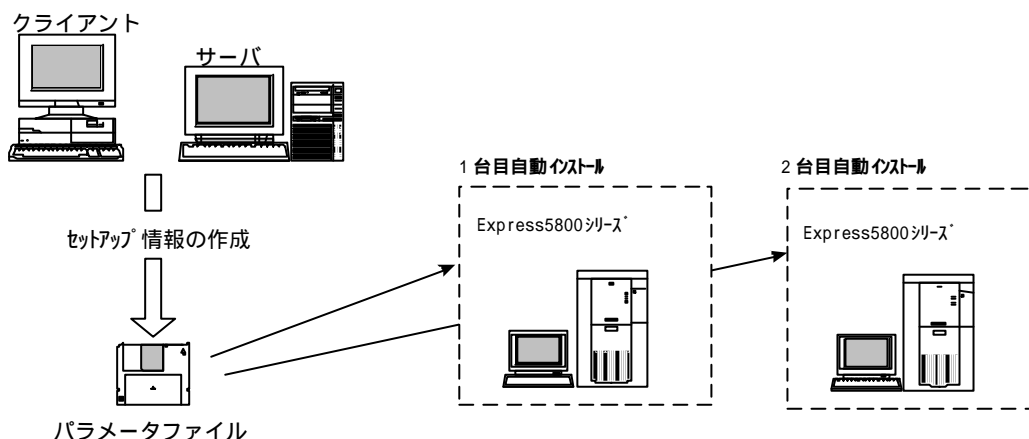
### 3.シームレスセットアップ

シームレスセットアップは、ウィザード形式でセットアップに必要な情報を収集しながら、RAID の設定から、Windows、各種ソフトウェアのインストールまでを一連の流れの中で進めていきます。

ヒント シームレスセットアップ実行のために、Version3.xxx 以前では、空きフロッピーディスクが1枚必要です。  
Version4.xxx では、フロッピーディスクが無くてもシームレスセットアップが可能ですが、Version3.xxx と同様にパラメータをフロッピーディスクに保存しながらセットアップを進めることもできます。

ExpressPicnic を使用すると、シームレスセットアップに必要な情報を記録した「パラメータファイル」を作成することができます。また、既存のファイルを基に新たなパラメータファイルを作成することも可能ですので、サーバの大量導入時に活用できます。

ヒント パラメータファイルを保存しておくと、再セットアップの際に、パラメータの入力を省略することができます。



## シームレスセットアップの流れ

### EXPRESSBUILDER の起動

本体装置に添付された EXPRESSBUILDER CD-ROM からブートする。  
起動したメニューから、「シームレスセットアップ」を選択する。



### RAID の設定

本体装置にディスクアレイコントローラが接続されていたり、HostRAID  
が有効になっていたりする場合は、RAID 設定用のウィザードが立ち上がる  
ので、必要に応じて RAID 設定情報を入力する。



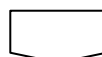
### RAID の構築 / ハードディスクの設定

ウィザードにて RAID を構築するように設定されている場合は、自動的  
に RAID を構築する。  
次に、ハードディスクの先頭に保守用の領域を作成し、この領域へ保守  
用の各ユーティリティをインストールする。



### インストール対象の選択

インストールしようとしているオペレーティングシステムを選択する。  
ハードウェアの設定のみ行い、後からマニュアルでオペレーティングシ  
ステムをインストールする場合は、ここで「その他」を選択する。



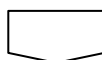
### セットアップ情報の入力

Windows のセットアップに必要な情報を入力する。また、必要に応じて  
ESMPRO など各種ソフトウェアのインストール情報を入力する。なお、  
ここでは日本語入力不可なので、日本語となる項目は英字で仮入力する。



### セットアップの開始

セットアップが自動的に進行する ( Windows CD-ROM へ交換し、使用許  
諾書に同意した後は、インストール終了までオペレーターによる作業は  
ありません )。



### ユーザー名 / 会社名の確認

必要があれば、仮に英字で入力したユーザー名 / 会社名を日本語で再入  
力する。

## 4.その他のセットアップ方法

### マニュアルセットアップ

- ・マニュアルセットアップは、手作業でディスクアレイの設定からオペレーティングシステム、および各種管理ソフトウェアをインストールする方法です。
- ・次のような場合、必要に応じてマニュアルセットアップを実行してください。

#### A . シームレスセットアップ未対応のボードを接続しているとき

各装置のユーザーズガイドにEXPRESSBUILDERでサポートしているオプション一覧が記載されていますので参照してください。

ユーザーズガイドに記載がない場合は、次のホームページから参照できます。

<http://www.ace.comp.nec.co.jp/>

(「ExpressPicnic」をクリックして情報を参照してください)

ビルド・トゥ・オーダーにより、OS組み込み出荷された状態からセットアップを開始する場合には、本操作を行う必要はありません。

- 1 セットアップしようとする大容量記憶装置コントローラの取り扱い説明書を準備する**  
セットアップ前に、ボード添付の取り扱い説明書を一読してください。
- 2 ディスクアレイコントローラの場合は、コントローラの取扱説明書に従ってRAIDの設定を行う**
- 3 EXPRESSBUILDER CD-ROMから、セットアップしようとするExpressシリーズを起動させる**
- 4 シームレスセットアップを実行し、次のような内容に設定されていることを確認する**  
「パラメータファイルを使用してセットアップを進めますか?」と問い合わせがあったときは、「はい」を選択する  
パラメータファイルを格納するフロッピーディスクは、ドライバが格納されたフロッピーディスクと共用して構いません。  
アレイディスクの設定画面が表示された場合は、[既存 RAID を使用する]をチェックする  
コントローラによっては、設定画面が現れないことがあります。  
[大容量記憶装置用OEM-FDの適用をする]をチェックする  
このオプションをチェックすることで、フロッピーディスクで提供されているドライバを読み込ませて、シームレスセットアップを進めることができます。

## **5 シームレスセットアップの途中で[大容量記憶装置用ドライバ]をコピーする**

大容量記憶装置コントローラに添付されているフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、以降は画面のメッセージに従って操作してください。

### **B . シームレスセットアップが未サポートの OS をインストールしたいとき**

以下の OS をインストールするときは、次の手順でインストールしてください。

- Windows Server 2003 Small Business Server
- Windows Server 2003 Datacenter Edition
- Windows Server 2003 x64 Editions
- Windows XP Professional x64 Edition
- Linux

#### **1 EXPRESSBUILDER を起動し、シームレスセットアップを選択する**

Version4.xxx の場合は、必要があれば RAID の設定・構築を行います。

#### **2 インストール OS の種別選択時に「その他」を選択する**

RAID の設定、保守用パーティションの設定が完了した時点で、いったん処理を終了します。

#### **3 以降は、各 OS のインストール方法に従ってインストールを続行する**

マニュアルセットアップが可能な機種については、オンラインドキュメントに「インストールレーションサプリメントガイド」が収録されていますので、これを参照してください。

## C . 特殊な RAID 設定を行いたいとき

### 1 接続したアレイコントローラに応じて、ボード上のツールを起動する

ボード上のツールを起動する場合は、ユーザーズガイド、または各ボードに添付のマニュアルに従って、POST から起動してください。

### 2 ボード上のツールから RAID の設定を行う

ツールの操作については、ユーザーズガイド、または各ボードに添付のマニュアルを参照してください。

### 3 EXPRESSBUILDER を起動し、シームレスセットアップを選択する

### 4 以降は、通常通りシームレスセットアップを実行する

[アレイディスクの設定] 画面が起動したときは、「既存 RAID を使用する」をチェックしてください。

## D . 保守用パーティションを作成したくないとき

ビルド・トゥ・オーダーにより、OS組み込み出荷された状態では、すでに保守用パーティションが作成されています。

### 1 ディスクアレイコントローラを接続している場合は、各ボードに応じて RAID を設定する

上記、C - 1、C - 2を参照してください。

### 2 以降は、各 OS のインストール方法に従ってインストールを続行する

上記、B - 3を参照してください。



## 5.注意事項

EXPRESSBUILDER からシステムを起動する場合、CD-ROM が添付されていた装置においてのみ実行してください。

注意 対象機種とバージョンが不一致の場合、エラーとなり異常終了します。

EXPRESSBUILDER を終了するときは、トップメニューの「終了」を選択してください。各ユーティリティやシームレスセットアップの実行中に、電源を切るなどして強制終了させないでください。

ヒント シームレスセットアップ実行中に電源を切った場合、次に電源投入して EXPRESSBUILDER を起動させると、セットアップの続きから始まります。

もし、初期状態に戻したいときは、EXPRESSBUILDER 起動時の「Now Loading...」画面（Ver3.xxx の場合は「EXPRESSBUILDER」ロゴ画面）のとき、「N」キーを 10 回以上押してください（クリアが成功すると、「トップメニュー」画面に戻ります）。

シームレスセットアップは、以下の OS は未サポートです。

（「4.その他のセットアップ方法」の手順Bを参照してください）

- Windows Server 2003 Small Business Server
- Windows Server 2003 Datacenter Edition
- Windows Server 2003 x64 Editions
- Windows XP Professional x64 Edition

Linux をインストールする際は、インストール OS 種別の指定で「その他」を指定してください。また、手動でパーティション作成の際には、fdisk(Linux 版)を使用されることを推奨します（「Linux On Express5800」の「テクニカル情報」 - 「ノウハウ集」を参照してください）